

南魚沼版CCRC

カレッジリンク・新設移住型

地域特性: 田園地域型 地域的広がり: エリア型
住み替えパターン: 大都市移住型

平成27年8月
新潟県南魚沼市

新潟県南魚沼市



【上越新幹線】

〈東京駅から〉

越後湯沢駅まで：約1時間20分

浦佐駅まで：約1時間30分

【関越自動車道】

〈練馬ICから〉

塩沢石打ICまで：

175.5km 約2時間00分

六日町ICまで：

186.9km 約2時間05分

大和SICまで：

198.3km 約2時間15分



魚沼盆地



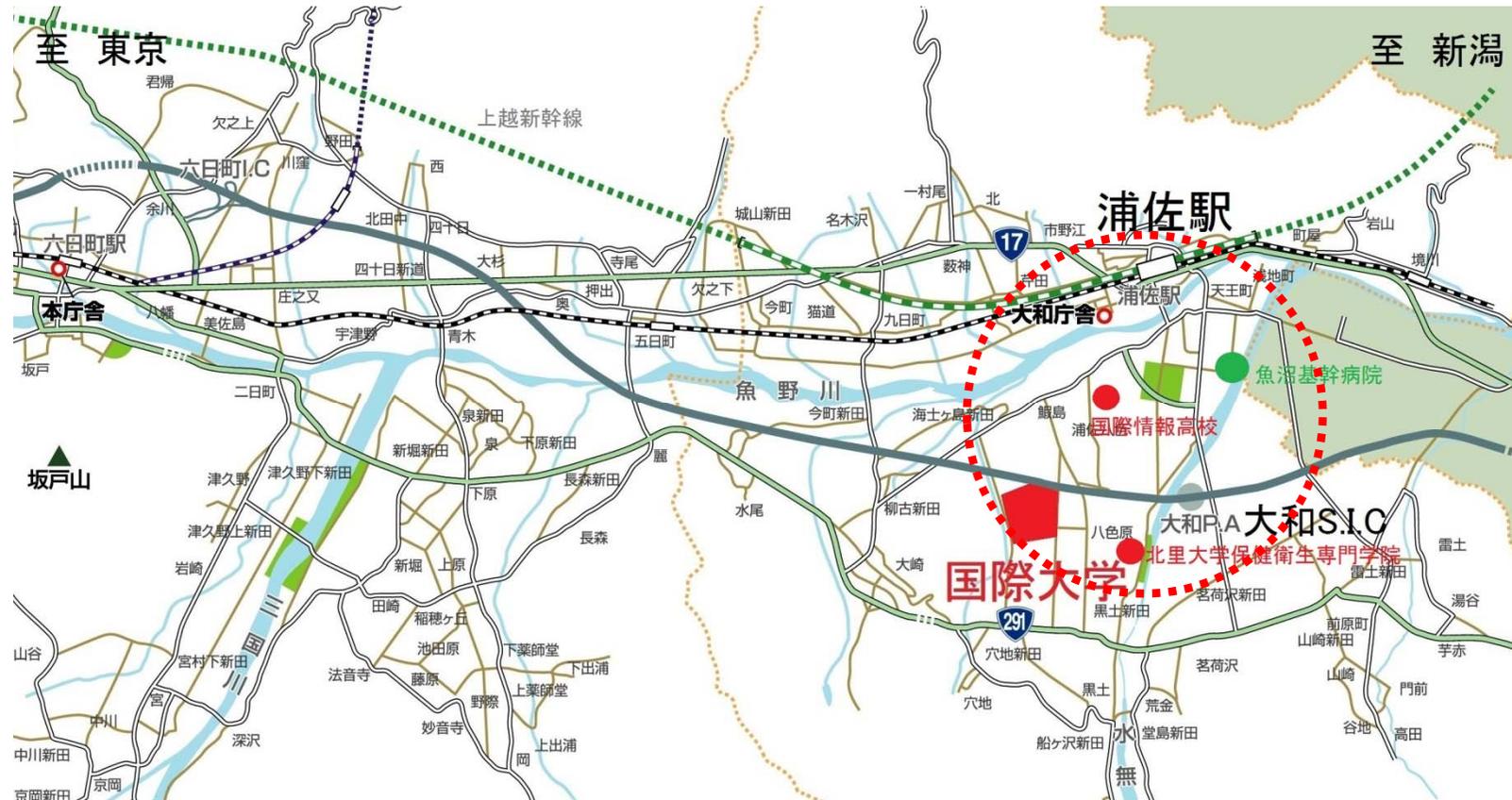
コシヒカリ



スキー場

想定される地域・規模

目標: 200戸 400人 アクティブシニアの移住



国際大学正門側

候補地: 国際大学敷地(約60ha)の一部 ほか

半径2kmエリア

上越新幹線浦佐駅、大和SIC

魚沼基幹病院、市立病院、浦佐診療所、消防大和分署

北里大学保健衛生専門学院、国際情報高校

大和中学校、浦佐小学校、浦佐認定こども園

コミュニティホールさわらび

普光寺、浦佐温泉、越後ワイナリー

四季の彩り豊か 自然の宝庫 雪の恵み



自然（雪）が育む「食」「衣」



豊富な山菜



南魚沼産コシヒカリ



天然水



越後上布・塩沢紬



4



地酒



越後ワイン



八色スイカ



八色しいたけ など



雪さらし

自然（雪）が育む「文化」「交流」



3月3日浦佐裸押合大祭
(1200年の歴史)



坂戸山（坂戸城）冬登山



2月しおざわ雪譜まつり
(鈴木牧之生誕地)



カタクリトレッキング



グリーン・ツーリズム



雲洞庵・関興寺で座禅
(天地人縁の寺)

国際大学 International University of Japan

理念：「世界の多様性を理解し、世界の多様性を促す人材の育成」

- ・国際大学（IUJ）は、1982年に日本初の大学院大学として誕生
- ・開学当初からすべての授業が英語、9月入学制を導入し、原則としてキャンパス内での全寮制
- ・世界に門戸を開き、学生の約85%が外国人留学生 ⇒日本人学生が多数派でない環境が特徴
- ・国際関係学研究科と国際経営学研究科の2研究科
- ・教育・研究体制、学生の受入れ・送出しなど、多くの面で高評価
- ・2013年4月には、学校法人明治大学と系列法人の協定を締結
互いの教育資源を共有、連携することで、世界トップクラスのグローバル・ユニバーシティを目指す



世界各国から集う学生たち



- ・浦佐キャンパス 〒949-7277
新潟県南魚沼市国際町777番地
電話：025-779-1111
Email：media@iuj.ac.jp
<http://www.iuj.ac.jp/ja/>
- ・東京事務所 〒106-0032
東京都港区六本木6-15-21
ハークスビル2F
電話：03-5770-1711

国際大学の特徴

英語による 授業科目率

100%

外国人留学生を対象とした「日本語」科目を除いて、すべての科目を英語で開講し、学業に必要なすべての情報を英語で周知しており、学内の公用語となっています。

現在、国際関係学研究所と国際経営学研究所に計7プログラムが設置されていて、全プログラムが英語による授業科目のみで修了できます。

英国「The Economist」誌 ビジネススクールランキング

世界**96**位 アジア**7**位

英国の経済誌「The Economist」による2014年のビジネススクールランキングで、国際経営学研究所のMBAプログラムは世界96位、アジア7位の評価を得ています。

国際大学の交換留学提携校の多くは、このようなランキングに入っています。世界レベルの教育の質が担保された、国際的なアライアンス内にて学生や教員の受け入れ、送り出しを行い、さらなる多様性の確保と人的ネットワークの強化を図っています。

少人数教育 1科目の平均履修者数

13.1人

国際関係学研究所と国際経営学研究所では合計199科目を開講し、1科目当たりの平均履修者数は13.1人となっています。また、学生330人に対し、44人の専任教員が在籍し、専任教員1人当たりの学生数は7.5人となっています。

これらの数字は、充実した少人数教育を提供していることを示します。

ABEイニシアティブ第1バッチ 受入れ学生数

第**1**位

国際協力機関（JICA）「アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ」により、2014年9月に来日した第1バッチ（159人）では、国内の大学で最も多い13人を受け入れました。

国際大学では、将来を嘱望されるような優秀な学生を多様な奨学プログラムによって受け入れています。

これは国際機関からの信頼の表れと言えます。

グローバル人材 パートナーシップ

55社

日本企業のグローバル人材育成の最重要拠点となるべく、「グローバル人材パートナーシップに関する覚書」を55社と締結しています。

国際大学は、グローバル経営に必要な優秀な人材の育成と供給、産学連携による共同研究・プロジェクトを通じて、国際化が必要な企業と世界の架け橋になることを目指しています。

明治大学

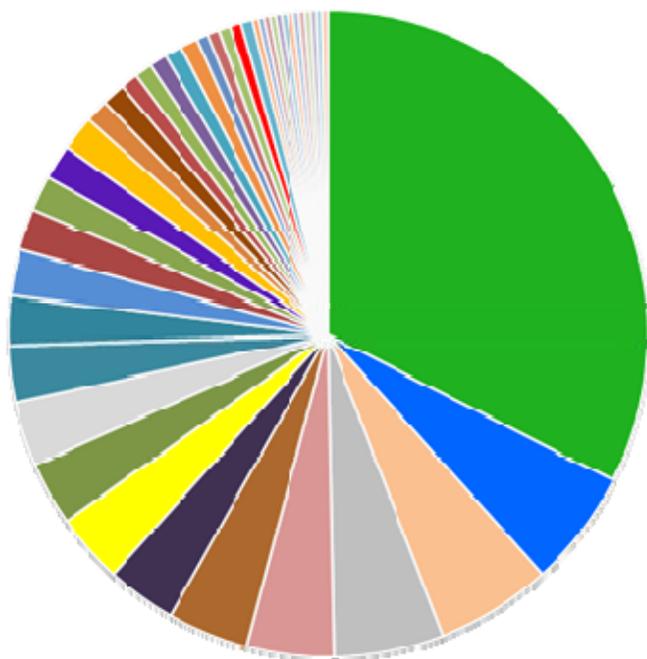
との系列法人化

明治大学は、1881年創立の在学生数3万2000人、卒業生数52万人を越す総合大学であり、日本を代表する大学の一つです。

学校法人国際大学と学校法人明治大学は、2013年4月、系列法人化に関する協定を締結しました。国際大学が持つグローバル・リーダー育成の実績と明治大学の教育資源などを組み合わせることによって、国際大学の特徴をさらに伸ばし、建学の精神を絶えず実現、拡充していきます。

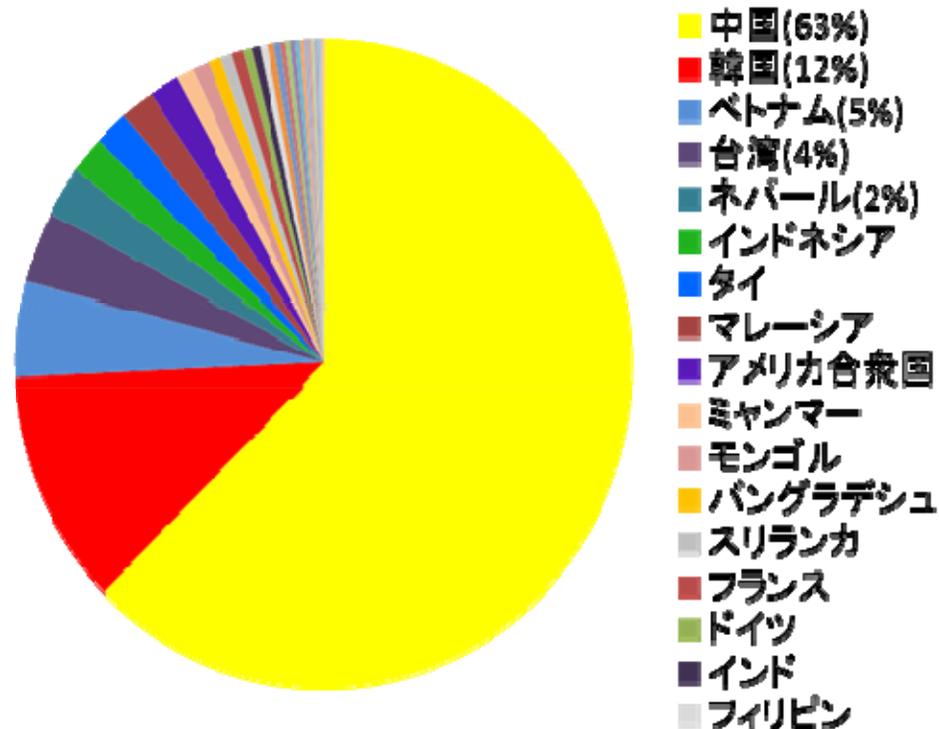
外国人留学生の多様性

国際大学外国人留学生
出身国42カ国比率(H25年度)



- インドネシア(32%)
- タイ(6%)
- ミャンマー(6%)
- スリランカ(6%)
- モンゴル(4%)
- ウズベキスタン
- インド
- 中国
- カンボジア
- フィリピン
- ラオス
- ネパール
- ベトナム
- キルギス
- アフガニスタン
- アメリカ合衆国
- バングラデシュ
- タジキスタン
- マレーシア
- ガーナ
- カザフスタン

日本学生支援機構(JASSO) 調査結果
外国人留学生出身国比率(H25年度)



- 中国(63%)
- 韓国(12%)
- ベトナム(5%)
- 台湾(4%)
- ネパール(2%)
- インドネシア
- タイ
- マレーシア
- アメリカ合衆国
- ミャンマー
- モンゴル
- バングラデシュ
- スリランカ
- フランス
- ドイツ
- インド
- フィリピン

日本全体の外国人留学生出身国比率を見ると、中国及び韓国の2カ国で7割超
国際大学では、インドネシアが最も多く、タイ、ミャンマー、スリランカと続く
外国人留学生の出身国・地域は多様

約40の国や地域から集う学生によって形成されるコミュニティ⇒グローバル・リーダーの育成に最適な環境

多彩なイベント

国際大学では学生自治会のメンバーを中心に、四季折々、多彩なイベントを開催
⇒ 地域コミュニティーとの協力もあり、日本の文化に触れ、理解する機会に



Would you like to join us?



国際大学を核とした連携

国際大学留学生などの若者と地域の皆さんの交流



わかもの「井戸端」あれこれ会議 2014.10.4

学生：国際大学留学生、明治大学、
(一社) K I P 知日派国際人育成プログラム

市民：八海山麓自然体験楽校（地域住民）
きりざいDE愛隊（愛Bリーグ登録団体）など
市役所人口減少問題PT



全員で稲刈り体験



きりざいでまちおこし
南魚沼きりざいDE愛隊
www.kirizaidon.com

国際大学留学生の家族との交流

日本語支援を受ける子どもたちの発表会 2015.2.27

学生：留学生のお子さん（中学生）

市民：南魚沼市日本語支援員

協力：FMゆきぐに（コミュニティFM局）



国際理解教育 ホームステイ



ホームステイの受け入れ

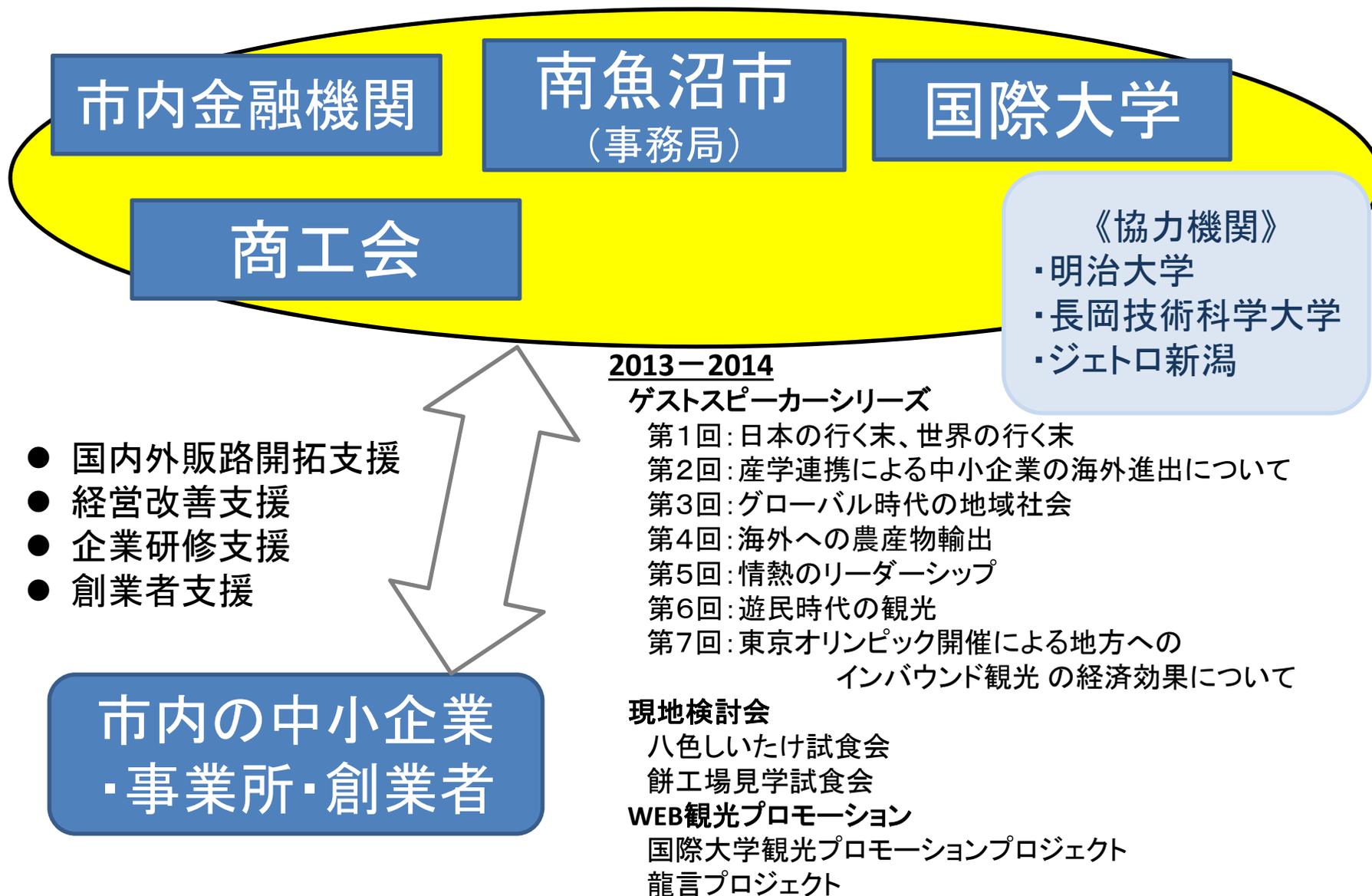


市内小学校で国際科（教育課程特認校）



ICLOVE (国際大学－南魚沼市地域産業支援プログラム)

International Collaboration for Local Organizations in Venture and Entrepreneurship Program



南魚沼版CCRC実現に向けて 地域内外の産学金官連携により推進

2014.10.27 第1回勉強会 60人

「CCRC」とは？

- ・「南魚沼版CCRCのビジョン」
- ・「地方創生との関連性」

2014.12.24 第2回勉強会 70人

南魚沼版CCRCの可能性

- ・南魚沼版CCRC魅力WS

2015.02.18 第3回勉強会 80人

南魚沼版CCRC実現に向けて

- ・第2回勉強会WSのまとめ
- ・推進スケジュール・組織化計画

2015.03.07 地方創生セミナー

30人

- ・2030年の世界と日本の課題
- ・CCRC検討状況報告と意見交換



参加者

第3回勉強会

国際大学、北里大学保健衛生専門学院

八海醸造(株)ほか市内企業、セントラルスポーツ(株)ほか市外企業

北越銀行(株)ほか市内外金融機関

新潟県、(一社)健康ビジネス協議会

市内関係者(女子力観光プロモーションチーム、既移住者、

メディカルタウン研究委員会、社会福祉法人、議会、南魚沼市)

報道関係者

さらに輝く！みんなで輝く！南魚沼版CCRCのすがた

みんなで働き拓く

- ・ICLOVE（企業経営支援）
- ・WEB観光プロモーション
- ・英語授業ゲストティーチャー
- ・英語サロン、日本語支援
- ・プチホームステイ

みんなで元気に

- ・フィットネスクラブで健康増進、介護予防、病中・病後リハビリ
- ・自家農園で体力維持
- ・医食同源・身土不二・土産土法
- ・デトックス

みんなで学び極める

- ・国際大学や北里学院の公開講座、講義特別聴講
- ・国際大学図書館開放
- ・雪国文化講座
- ・座禅修行
- ・越後上布技術習得

南魚沼版CCRC（国際大学）

みんなで楽しむ

- ・雪を楽しむ
スキー・スノーボード、スノーアクティビティ、バックカントリースノートレッキング
- ・登山・トレッキング
八海山（越後三山）
巻機山（日本百名山）
坂戸山（坂戸城634m）
- ・サイクリング（グルメライド）
- ・ランニング（グルメマラソン）
- ・ウォーキング（ナイトウォーク）
- ・山紫水明スケッチ
- ・まつり（浦佐裸押合大祭など）
- ・地酒、山菜、郷土料理、漬物

グローバル・ビレッジを創出

- 移住者居室（宅）
- 留学生独身・家族居室（宅）
- 移住定住コンシェルジュ
総合相談・支援
介護・診療施設
- 健康関連サービス施設
- お国自慢レストラン・カフェ（英・日）
- 英語保育、英語寺子屋
- 英語サロン…

- ・克雪利雪住宅
雪冷房
雪室、ワインセラー…
- ・エネルギー域内自給
ペレットストーブ
薪ストーブ
太陽光・小水力発電

若者の魅力ある雇用の創出

●健康・貢献マイレージ●

南魚沼版CCRC実現に向けた検討事項

(1) 移住促進

- ・情報提供ツール・コンテンツ整備（移住者向け）
- ・総合相談・支援体制確立（雇用・生活・資金…）
- ・周辺地域、市民団体との交流・連携

(2) 事業推進

- ・情報提供ツール・コンテンツ整備（事業者向け）
- ・実施事業体の選定、連携（資金確保）
- ・土地利用・土地取引（規制緩和、簡素化）
- ・関連インフラ整備
- ・介護保険制度、高齢者医療対策（財源負担）

(3) その他

- ・雪国に適した快適な住環境
- ・エネルギー域内自給

南魚沼版CCRC推進における課題

(1) 移住促進

- ・総合相談・支援（雇用・活動・日常生活・生活資金…）体制の組織化
 - ⇒国際交流、観光、地域づくりなど幅広い関係団体と連携
 - ⇒市域全体での機能発揮＝「移住定住」全般の機能を担う
- ・移住者の税制（国・市税）優遇措置

(2) 事業推進

- ・実施事業体の選定（多様な提案の整理）
- ・国際大学の土地利用の円滑化（規制緩和、簡素化）
- ・関連インフラ整備の財源確保（アクセス道、上下水、情報、電力など）
- ・介護・高齢者医療財源対策及び人材確保

南魚沼版CCRC実現に向けた取り組み

南魚沼版CCRC推進のに向けた組織化計画と役割分担

(1) 推進協議会 7月1日発足

- ・CCRCの意義（移住促進と若者の雇用創造等事業効果の推定）
- ・KPIの設定（達成すべき中間目標・初期に目指す数値目標）
- ・PDCAの実施方針（事業進捗の管理、計画修正）
- ・行政・地域団体・既存施設等との連携調整

(2) 移住促進組織 (9月)

- ・移住促進事業（「お試し居住」、移住プロモーション）
- ・移住マーケティング、移住者サポート、移住者能力マッチング及び事業化

(3) 事業実施組織（準備会） (12月)

- ・施設整備、運営・プロモーション

住宅部分及び関連サービス部分（立地候補地、規模、施設配置、周辺施設など）

お試し居住（マーケティング事業）H27～

- ・予備的なプロモーションと施設、運営への要望把握、移住予定者の企画参加
- ・首都圏の企業、団体等パートナーづくり



初雪の八海山

新潟県南魚沼市総務部企画政策課
TEL025(773)6672 FAX025(772)3055
E-mail kikaku@city.minamiuonuma.lg.jp